

## 新入社員が研修

群馬建協ら

群馬県内の建設業団体や建設系高校、職業訓練校、県などで構成する「建設産業人材確保・育成に関する協議会」（会長・青柳剛群馬県建設業協会会長）は12日、前橋市の群馬建設会館で2017年度新入社員研修会を開いた。建協12支部の46社、専門工事業



指名された新入社員（右端）が講師の紹介を読み上げた。

6団体の22社から約180人の新入社員が参加し、建設業の基礎知識などを学んだ。

冒頭、青柳会長は「同業他社の人とのコミュニケーションをしっかりと図り、心に残る有意義な研修会となることを期待する」とあいさつした。

続いて群馬建協の藤塚永治理事兼事務局長が講師の紹介、講義の最初と最後の号外、弁当や飲み物の配布を担当する新入社員を指名し、「私たちが参加して成功させようという意気込みで取り組んでほしい」と呼び掛けた。

その後、建設経営サービスの福田義浩調査事業部調査役が「建設業の基礎知識」、行政書士でファイナンシャルプランナーの飯塚重紀氏が「社会人として知っておくべきマナーの基本」を講義。イメーリアップコンサルタントの田中アイ氏がスキルアップセミナーを実施した。